



「世界食料デー」月間2017
キックオフシンポジウムin横浜

考えよう!

「食」べること「捨」てること

～いま私たちにできることは?～

10月16日は「世界食料デー」。国連が定めた「世界の食料問題を考える日」です。日本では「世界食料デー」のある10月を「世界食料デー」月間とし、解決に向けて行動することをNGO/NPOや国際機関と一緒に呼びかけています。

日時

2017年10月1日(日)

12:30～15:30<受付12:00～>

場所

はまぎんホールヴィアマーレ
(横浜市西区みなとみらい3-1-1)

参加費

無料

定員

200名(申込先着順)

共催

「世界食料デー」月間2017
横浜市資源循環局

プログラム

- 12:30 開会の挨拶 横浜市
12:45 基調講演 食料ロスと廃棄～食料安全保障の観点から～
チャールズ・ポリコ 国連食糧農業機関(FAO) 駐日連絡事務所長
13:05 事例紹介

- アジア・アフリカの食の現状と課題解決
佐藤真美 ハンガー・フリー・ワールド
海外事業マネージャー地域開発担当
- 国内の貧困問題とフードバンク
芝田雄司 セカンドハーベスト・ジャパン パントリーコーディネーター
- 市民活動としてのWEショップ
森田夕紀 WE21ジャパン事務局長
- 食品ロス削減に向けた企業の取組
藤乗照幸 株式会社セブン&アイホールディングス
総務部 資源・リサイクル オフィサー
- 食品ロス削減に向けた横浜市の取組
尾仲富士夫 横浜市資源循環局 局長

- 13:55 休憩
14:10 パネルディスカッション
15:15 「世界食料デー」月間のご紹介
15:30 終了

※12:00～12:30と15:30～16:30
会場のロビーに「交流スペース」を設けます。シンポジウム
に登壇する団体のほか、食料問題に取り組む複数の団体
が活動についてご紹介しますのでお立ち寄りください。

「食べること」は誰にとっても、ただお腹を満たすだけではない大切な役割があるはずです。心と身体に活力を与えたり、食材や料理を作った人と食べる人を結びつけたり……。

一方で、「賞味期限が過ぎちゃった」「料理を注文しすぎて食べきれない」など、食べ物を「捨てること」は多くの人にとって日常の出来事となっていることも事実です。すべての人が毎日の生活の中で食べられるだけの食料が生産されているにもかかわらず、今日も十分に食べられるかどうか不安を抱えている人たちが多くいる現状もあります。

今回のシンポジウムでは、飢餓、貧困、食品ロスなどに取り組む国連機関、NGO/NPO、企業、行政が集まり、すべての人が安心して食べられるようにするための活動や、食べ物のムダをなくすための取組を、さまざまな視点からご紹介します。10月の「世界食料デー」月間に、「食べること」や食べ物を「捨てること」について一緒に考えてみませんか。

登壇者プロフィール

基調講演

コンゴ民主共和国出身。キサンガニ大学で学士(心理学)及び修士(産業心理学)を取得。首都キンシャサにある商科大学で3年間教鞭を執った後、1990年来日、名古屋大学大学院国際開発研究科で博士号を取得。1997年より国際連合食糧農業機関(FAO)に勤務。ニューヨーク連絡事務所、ローマ本部での勤務を経て2013年8月、FAO駐日連絡事務所初の外国人所長として着任。母国のカトリック大学で客員教授として教鞭も執る。

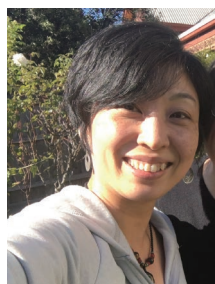
チャールズ・ポリコ

国連食糧農業機関(FAO) 駐日連絡事務所長

<好きな食べ物>: 野菜、果物、ヨーグルト



事例紹介・パネルディスカッション



徳島県出身。教育学、国際関係学を学んだ後、NPO/NGO活動に携わる。主にアジア地域で、ジェンダー、教育、保健医療分野でのアドボカシー、地域開発活動に関わり、2016年8月より現職。

<好きな食べ物>: 唐辛子ふりかけ

佐藤 真美

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド
海外事業マネジャー・地域開発担当



埼玉県出身。2009年1月からセカンドハーベスト・ジャパンの活動に参加。2011年3月～2014年7月、宮城県石巻で被災者への食料支援活動。2014年8月から東京オフィスに戻り、パントリー業務に従事。フードセーフティーネット構築に向け奮闘中。

<好きな食べ物>: パイナップル

芝田 雄司

セカンドハーベスト・ジャパン パントリーコーディネーター



明治学院大学国際学部卒業。2007年にWE21ジャパンに参加、2017年より現職。神奈川県内にあるチャリティショップ「WEショップ」の広報担当、フィリピン・ベンゲット州の先住民族の人びととの民際協力活動に携わる。

<好きな食べ物>: タイ料理のガバオライス

森田 夕紀

特定非営利活動法人WE21ジャパン 事務局長



千葉県出身。1997年にイトーヨーカ堂に入社、店勤務を経て2001年より本部総務部に勤務。資材調達、店舗清掃管理業務を経て、2014年よりグループ全般的の適正処理、3Rの推進業務の窓口として従事。

<好きな食べ物>: 日本蕎麦

藤乗 照幸

株式会社セブン&アイホールディングス
総務部資源リサイクル オフィサー



神奈川県出身。1982年に横浜市役所に入庁。道路局や環境創造局、栄区長などをを経て、2016年に資源循環局長に着任。市内で発生している「食品ロス」の削減を重点課題と位置づけ、今回のシンポジウムを開催。

<好きな食べ物>: カレーライス

尾仲 富士夫

横浜市資源循環局 局長

最新の情報は横浜市資源循環局HPをご覧ください。

🔍 考えよう!「食べること」「捨てること」 🔍



【申し込み方法(事前申込み制)】

①インターネット 資源循環局ホームページからお申し込み下さい。

②電話 【問合せ・申し込み】に記載の番号へご連絡ください。

③往復はがき 往信表面に「231-0013 横浜市中区住吉町1-13 松村ビル5F 資源循環局3R推進課シンポジウム担当宛」、往信裏面に「住所、氏名、電話番号」、返信表面に「住所、氏名」を記入いただき送付してください。返信はがきにて参加の可否をご連絡いたします。

※返信裏面には何も記入しないでください。※記入方法は資源循環局HPでも公開しております。

【問合せ・申し込み】

横浜市資源循環局3R推進課

TEL 045-671-2530

FAX 045-663-5834

Mail sj-3rsuishin@city.yokohama.jp